



心豊かで 住みやすい街に

[秋田市観光クチコミ大使]

三菱マテリアル株式会社 人財開発センター所長

京野 周平氏

昨年3月に秋田を離れるまでの約5年半、多方面の皆さんに大変お世話になりました。この場をお借りしまして御礼申し上げたいと思います。もともと実家が秋田市内なので、その後もたびたび帰省しておりますが、秋田を離れたことであらためて秋田の良さ、悪さを認識したように思います。今回は住民目線で思うところを。

現在はさいたま市にある人財開発センターという部署で社内研修の仕事をしておりますが、立場を活用(悪用?)して研修の開講挨拶の際にほんのちょっと秋田の観光PRをしています。限られた時間ですので、お米、お酒、秋田美人、川反といった程度に留まりますが、結局自分の中での秋田の良いたころもこれに凝縮されているということでしょうか? 特に、秋田のお酒は二日酔いしても気持ち良い、というのが持論です。



研修センターが入っている「さいたまオフィス」

ちなみに、東京では下町のビジネスホテルが外国人観光客に大人気だそうです。ここではインターネットのクチコミサイト(トリップアドバイザー、フォートラベルなど)に目をつけて、外国人観光客に書き込みをしてもらうよう働きかけており、いい評価をしてもらえるよう様々な努力をしているそうです。今やガイドブックよりもクチコミの方が影響力が大きいようですが、まだまだ秋田のクチコミは多くありません。

高齢化も人口減少も最も進んでいる秋田県。秋田市にもその波は押し寄せています。嘆いていてもしかたない、まずは現実を受け入れ、その上でどう対応して行くか? 一つの解は街なかに集まることではないでしょうか? 高齢者が住みやすい街づ

くりをすること。歩いて買い物、歩いて病院、公園、文化施設、ちょっとだけ刺激的な娯楽施設があればもっといい。そして何より雪で苦勞しないこと。人が集まれば、家の前の除雪の問題も減るかもしれません。また、秋田駅からエリアなかいち、市民市場などをアーケードでつなげば、年配の方が歩く楽しみがふえるのではないのでしょうか? 幸い秋田の中心街はこじんまりしていますので、ほとんどの場合、歩いて用が足ります。また、人口も多過ぎず、少な過ぎず、街を歩けば顔見知りに出会います。

一方で、都会の高齢者を地方に移住してもらおうという動きがあります。都会の都合で始まったような話で必ずしも愉快ではありませんが、秋田にとっては大きなチャンスかもしれません。幸か不幸か、街なかには空き家だらけです。

昔歌った「大いなる秋田」という合唱曲の中に「秀麗無比なる」で始まる「秋田県民歌」がありますが、私は元気な「県民の歌」が好きです。

「朝あけ雲の色はえて 仰ぐはるかな山々よ
つらなる町も緑の村も 平和の光りみちている
あぁあこがれのわが秋田
みんなでみんなで歌おうよ(1番)」

■略歴

- 1959年 東京都生まれ
- 1978年 秋田高校卒業
- 1982年 早稲田大学法学部卒業
- 1982年 三菱金属(現三菱マテリアル)㈱入社
- 2008年9月～2014年3月 秋田製錬所長
- 2012年6月～2014年3月
(株)ダイヤプラザ取締役社長兼任
- 2014年4月～ 現職